令和６年度　第３回　神奈川県立伊勢原高等学校運営協議会
（議事録）

Ⅰ　日 時

令和７年３月 11 日（火）15:00～16:30

Ⅱ　場 所

県立伊勢原高等学校　会議室

Ⅲ　出席者

（委員７名）

石田 誠 様（伊勢原高等学校ＰＴＡ会長代行　副会長）

田中 昇 様（伊勢原高等学校同窓会長）

宮林 貴子 様（伊勢原市立山王中学校長）欠席

成川 忠之 様（東海大学経営学部 教授）

鈴木 裕也 様（伊勢原北地区青少年健全育成協議会青少年指導員、平成 26 年度ＰＴＡ会長）

成田 幸保 様（田中自治会長）

元橋 洋介 （伊勢原高等学校長）

（学校職員12名）

管理職　杉山副校長、宇田川全日制教頭、北村定時制教頭

ＧＬ　池谷（学務）、髙木（キャリア）、川井（生徒支援）、磯崎（学校管理）、
斉藤（芙）（生徒指導）、天野（研究渉外）、中尾（定：カリキュラム／生徒支援）
椙本（定：生活・保健／学校管理運営）

記録　福田（研究渉外）

Ⅳ　概要

【第一部】 全体会、学校運営協議会・学校評価部会【15:00～15:50／会議室】

１　校長挨拶

２ 令和６年度学校評価（実施結果）について

・各GLより説明

［全日制］「資料１」を全日制GLから説明。

ア　教育課程・学習指導（学務GL、研究渉外G）

・新しい教育課程について卒業生、卒業生保護者、教職員へアンケートを実施。
→回答数230。授業が難しいとの意見が見られた。また、２学年で開講されている数学の科目は、文系への開講について、扱いが難しいとの意見があった。

・ICTを活用した研究授業が各教科で行われ、組織的に授業改善を行った。

・授業見学週間を実施した。

イ　生徒指導・支援（生徒指導GL・生徒支援GL）

・様々な行事を生徒主体で実施した。

・次年度は生徒会や該当委員会の生徒だけでなく、他の生徒も巻き込んで実施していきたい。
・かながわ子どもサポートドックを実施した。
→調査結果を分析し、面談やSC、SSWにスムーズにつなげることができた。
・SCやSSWの利用も増加している。保護者の利用も増えつつある。

ウ　進路指導・支援（キャリアGL）
・企業研究・地域研究を実施した。
・変化していく社会情勢に臨機応変に対応できるよう情報収集を引き続き行う。
・総合的な探究の時間の内容整備が課題となる。

エ　地域等との協働（生徒指導G、研究渉外GL）
・地域貢献活動として、地域清掃を実施した。
・小学校、中学校の教員から、高校生が手伝いに来てくれると助かるという意見をいただいている。
・生徒会や在県外国人の生徒を中心とした学校説明会を実施した。
・入試の倍率も例年並みとなった。
・生徒とともに学校説明会の方法をさらに改善していきたい。

オ　学校管理・学校運営（学校管理GL）
・事故、不祥事防止に向けた取り組みについて、アンケートを実施。
→校務用PCのチャット機能を活用し、期限までの回答率の向上に努めた。職員の不祥事防止に向けた意識の向上につながった。

（質疑：全日制）
・教育課程について想定していた課題はあるか。
→昨今の社会情勢の変化や大学入試の傾向などを鑑みて変更が必要な科目があるか今後も検討していく。
・AIを使う際の生徒への指導はしているか。
→県のガイドラインを生徒へ提示している。
・企業研究・地域探究ではどんな成果をあげることができたか。
→２学年では、外部機関との連携により様々な企業の特徴を知ることができた。
１学年では、大山ウォークを通じて、地域の様々な特色や課題を発見することができた。
・総合的な探究の時間の内容は、各学年レベリングされているのか。
→レベリングはしていない。各学年の特色に合わせて内容を検討している。
・総合防災訓練は休日に実施したのか。
→休日に実施した。部活・生徒会・委員会など多くの生徒が参加した。
・地域の行事に生徒をボランティアとして参加させてほしい。何か規定はあるのか。
→規定はないので、参加は可能だが、保険加入など検討すべき事項もある。

［定時制］「資料１」を定時制GLから説明。

ア　教育課程・学習指導
・ティームティーチングや個別対応を実施。生徒の困りに早期対応できた。
・上記の対応の結果、生徒の取り組み姿勢の向上が見られた。
・授業互見も行った。

イ　生徒指導・支援
・明鏡祭（文化祭部門）において、今年度新たに定時制独自の後夜祭を実施。
・人権研修を２回実施し、多様な生徒への対応について考えた。
・SCやSSWとの連携。全員面談の実施。
・行事に後ろ向きな生徒へのケアが課題。
・準備に携わるなど、参加の形を工夫していきたい。

・サポートドックアンケートの際に、生活アンケートも実施している

ウ　進路指導・支援
・卒業学年にハローワークによる就職ガイダンスの実施。
・かなテクカレッジ西部校で全学年が実習を実施した。
・目標設定を早期に行うことが重要である。
・面談を通して、進路希望先とのマッチングを確認した。

エ　地域等との協働
・清掃など地域貢献活動の実施。
・ボードゲーム部が地域の放課後デイサービスでボランティア活動を行った。
・広報のため、HPの更新を積極的に行った。

オ　学校管理
・不祥事防止研修の実施。
・夜間の登下校の危険性や危機回避の方法を周知した。

（質疑：定時制）
・批判的思考の指導をどのように行っているのか。
→今後、総合的な探究の時間も含めて、ディスカッションなどを通じて実施していきたい。
・就職活動の状況はどうなっているのか。
→求人はあるが、本人の希望と企業が求める人材のマッチングが難しいこともある。
欠席が多い生徒にとって、他課程の欠席が少ない生徒との競争は厳しいものとなった。

３ 質疑応答
第一部の２で実施した。

４ その他
特になし。

第二部　教育活動部会・地域連携部会【15:50～16:30／会議室】

１　生徒心得について
資料２により生徒指導GLから説明。
［全日制］
・近隣他校に比べたら校則は厳しめである。
・４月のオリエンテーションにて、生徒へ安心・安全な学校生活について指導する予定。
・次年度は、紺のポロシャツを導入する予定。
・昨今の気温・天候の変化を鑑みて、服装規定を柔軟に対応。
［定時制］
・TPO指導を適切に行っている。
・車、オートバイ通学は禁止。

２　進路実績
資料３により説明

３　部活動実績
資料４により説明
全日制ライフル射撃部について、学びや基金によって130万円の活動資金を達成。次年度以降に活かしていく。

４　地域との協働
資料５により説明

（質疑）
道灌祭りには参加しないのか。
→今年度は、定期試験と日程が被った。
参加料のかかる活動への参加は難しい。

5 各学年の様子

［全日制］

（１年）
・大きな問題なし。

（２年）
・最上級生になるにあたり、意識が芽生え始めている。
・一方で、新しい環境への不安の声も聞こえてくる。

（３年）
・学校を代表する模範的な生徒であった。

［定時制］
・１学年は、様々な課題をもった生徒も頑張っている。
・２学年は、人数が多く活発。
・３学年は、最上級生になる準備をしている。
・４年生は、無事に卒業。

6 質疑応答
特になし

7 その他
評議員から
・各生徒を大切に指導していると感じた。
・部活動を活発にしてほしい。
・登校時間等は小学生と高校生が行き交う状況なので、引き続き交通安全に配慮してほしい。
・ICTの活用やインクルーシブ関係など、引き続き頑張ってほしい。
・HPの更新を細かくやれている。

（資料）
1 第３回 神奈川県立伊勢原高等学校運営協議会 次第
2 令和６年度 学校評価報告書（実施結果）［全日制］
3 令和６年度 学校評価報告書（実施結果）［定時制］
4 神奈川県立伊勢原高等 全日制 生徒心得
5 神奈川県立伊勢原高等 定時制 生徒心得
6 2025年 ３月10日現在 75期卒業生進路
7 伊勢原高校定時制 過去３年間の進路状況
8 伊勢原高等学校 令和６年度部活動実績（11月～３月）
9 伊勢原高等学校 令和６年度地域等との協働